

『COREO-Net. (コレオネット)』

Collaborative Regional OITA High-school Network (大分県 COREハイスクール・ネットワーク)

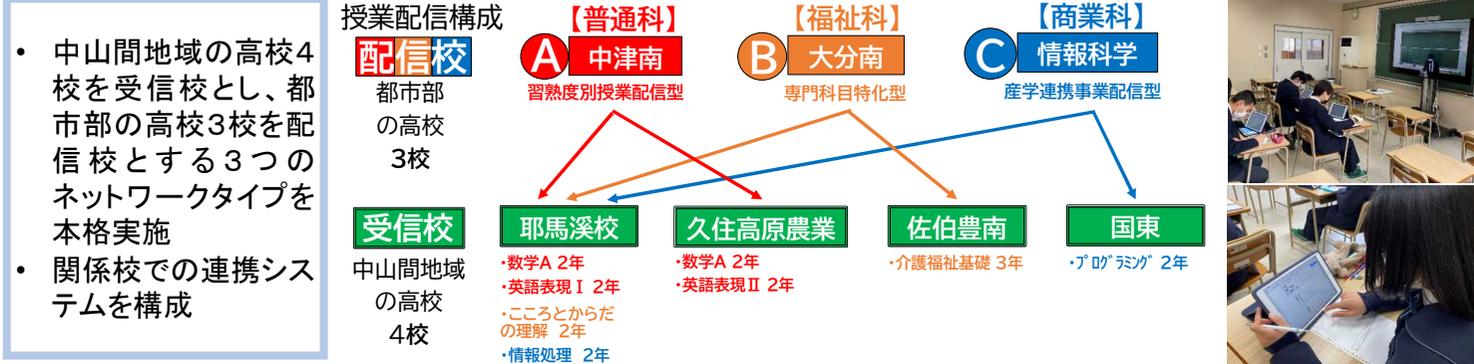
目的

中山間地域の高校において、生徒の多様な進路実現に向けた教育・支援を可能にするため、習熟度に応じたきめ細かい学習等に係る遠隔授業を実践するとともに、地域との協働によるコンソーシアムを構築し、地域資源を活用した探究的な学びなどによる教育の高度化・多様化や、地域を深く理解しコミュニティを支える人材育成に資する取組を行う

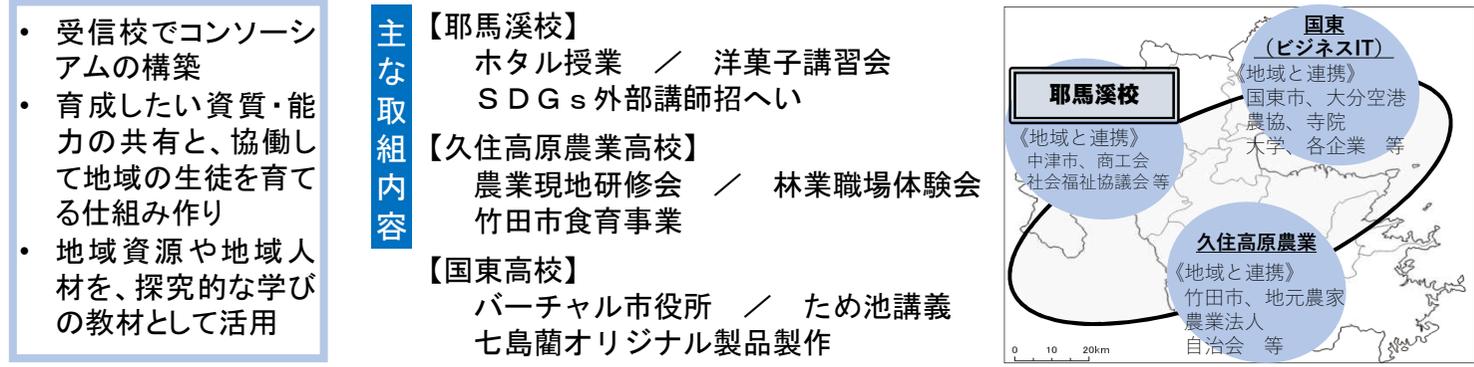
背景

- ・ H17年度からの高校再編で、中山間地域を中心に複数学科を一校に統合した総合選択制高校を設置するなど、生徒の学ぶ環境を整備
- ・ さらなる少子化により、地域の小規模校では、地域全域から幅広い学力層の生徒が入学し、同じ教室内、かつ同じペースで学習に取り組む状況
- ・ 地域の高校では、大自然や伝統文化などの恵まれた地域資源を強みとして、H28年度から高校の魅力化を進めており、総合的な探究の時間等において、地元根ざした特色ある教育活動を実践
- ・ 小規模校ならではの生徒に寄り添う丁寧な学習指導等により、在校生の満足度は高い一方で、より高度な知識や広範な学習を含んだ、個々に応じた最適なレベルの授業を望む声も生徒から聞かれるなど、限られた教員数で対応することに難あり
- ・ 中山間地域の学校の維持・活性化は、地域の活力創出にもつながることから、地元中学生が行きたい、学びたいと思う魅力ある学校づくりを進め、入学者を確保する必要あり
- ・ 入学者の増加、地域を担う人材の育成、結果として地域の活力創出という好循環を生み出すためにも、中学生が地元高校に進学しても、安心して個々の進路実現に向かって邁進できるような学校の体制づくりが必要

1. 遠隔授業に関する取組状況



2. 地元自治体等の関係機関と連携・協働する体制の構築に関する取組状況



3. 今年度の成果と今後の課題

成果

- 【遠隔授業】
 - ・ 遠隔授業の本格実施
 - ・ 【相互交流】
 - ・ コンソーシアムの構築による地域ぐるみによる教育を実践

課題

- 【遠隔授業】
 - ・ 生徒の理解度の見取り、評価手法について研究
 - ・ 授業支援アプリ等の有効活用研究
 - ・ 受信校での授業補助について研究
- 【相互交流】
 - ・ さらなる地域ぐるみによる教育を実践
 - ・ 連携校間での情報交換・意見交換の場を設定